

科目名 保全生態学特論 (2単位)

担当者氏名 白木 彩子、中村 隆俊

◆学習・教育目標

世界的な共通目標となっている生物多様性の維持を実現するための学際領域として近年発展してきた保全生態学の基本的な考え方を学び、現代社会に生じている生物多様性の維持に関わる諸問題について講述する。また、現代社会に生じている生物多様性の維持に関わる諸問題とその解決法について、ディスカッションを通して考える。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

保全生態学 生物多様性 絶滅危惧種 自然再生
生態系復元 稀少種保存

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～3回	生物多様性と絶滅（担当：白木 彩子）	保全生態学の基本的な考え方、生物多様性と絶滅に関する理論について講述する。	授業中に配布するレジメや参考資料は予習しておくこと。
4回～8回	生物個体群および群集レベルでの保全（担当：白木 彩子）	野生生物の個体群および群集レベルの保全の実践的な手法について講述するほか、関係する英論文や解説等を輪読する。	授業中に配布するレジメや参考資料は予習しておくこと。
9回	生物多様性と現代社会（担当：中村 隆俊）	生物多様性国家戦略と生物保全に関する法律について講述する。	授業中に配布するレジメや参考資料をよく読んでおくこと
10～11回		自然再生事業の概要と現状について講述する。	授業中に配布するレジメや参考資料をよく読んでおくこと
12回		生態系復元手法について講述する。	授業中に配布するレジメや参考資料をよく読んでおくこと
13～15回		生物多様性の評価手法解説とデータ演習	授業中に配布するレジメや参考資料をよく読んでおくこと

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）
書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等
書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席状況およびレポート(課題)により評価する。

◆その他受講上の注意事項

調査や学会等で欠席する場合は事前に申告のこと。